

2026 年 2 月 16 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ミ ス ミ グ ル ー プ 本 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 大 野 龍 隆
(コード番号: 9962 東証プライム)
責任者役職名 常務執行役員 CFO ファイナンス
プラットフォーム・ハブ代表役員
高波 徹
(TEL: 03-6777-7501)

パンチ工業株式会社との物流協業開始並びに効果実証に関するお知らせ

当社は、パンチ工業株式会社(以下、「パンチグループ」という。)向けに 2025 年 10 月より 3PL(サーブド・パーティ・ロジスティクス)サービスを開始し、両社の物流拠点をミスマ東日本流通センター(神奈川県川崎市)へ統合しました。

今回の物流拠点統合は、両社の物量を集約することでスケールメリットを生み出すとともに、ミスマが保有する自動化設備を活用して物流効率を高めることを目的としています。これらの取り組みにより、お客さまへ安定的かつ持続的に商品を生供給できる体制の強化を図ってまいります。

本取り組みは、両社に加え、SBS 即配サポート株式会社の 3 社が連携して推進する「ものづくり B to B 事業_共同在庫管理／輸配送プロジェクト」として、経済産業省の「持続可能な物流を支える物流効率化実証事業(1)物流効率化に資する連携実証事業」※1)にも採択され、2026 年 1 月末に実証事業を完了し、倉庫内作業の自動化推進による作業効率の向上を実現しています。

当社とパンチグループは、輸送力不足や物流コストの上昇といった業界課題に対応することで、金属加工・機械部品産業全体のサプライチェーン最適化に貢献してまいります。

■ 取り組みの目的と展望

当社とパンチグループは、2024 年 10 月 7 日に締結した資本業務提携契約により両社のリソースを有効活用し、共に金属加工・機械部品産業の成長・発展を目指すことに合意しており、今回の物流拠点統合はその一環です。ミスマグループが外部企業向けに物流業務を受託する初の事例となります。

今回、両社の物量を集約することでスケールメリットを創出するとともに、業務オペレーションの統合により、トラックの荷待ち・荷役時間を月間 110 時間短縮・10t トラック 216 台分/月を削減※2)しました。さらに、倉庫内では、棚搬送ロボットや自動計数ピッキングカートなど自動化設備の活用も進めています。これらの取り組みにより、物流効率の向上とコスト削減を実現しました。

当社は、3,000 万点以上の商品を取り扱い、グローバル 32.3 万社のお客さまに安定供給できる物流基盤を構築・運営しています。2025 年には、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(JILS)が選出する「2025 年度 物流改善賞」にて、最高位である「最優秀物流改善賞(物流業務部門)」を受賞※3)するなど、業界内でも高い評価を得ています。

今後は、在庫品の共同購買、商品の相互供給など両社の規模を活かしたコスト競争力の強化を進めるとともに、パンチグループの精密加工技術と顧客対応力、当社のデジタル技術と供給力といった両社の強みを活かし、成長する海外市場での連携など、さらなる協業の拡大も計画しております。

※1:経済産業省『持続可能な物流を支える物流効率化実証事業』

<https://logiefficiency-meti.jp/r6h/>

※2:2026 年 1 月度実績値

※3:JILS ニュースリリース『「2025 年度物流改善賞」が決定』

<https://www1.logistics.or.jp/news/news-9112/>

以上